



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM '99 6月号

真田・北金目遺跡群出土資料展 開催中

市内真田地区、北金目地区で行われている発掘調査で出土した資料のなかから、平成7・8年度に調査され、整理された資料を中心に展示します。水場の遺構から出土した、弥生時代から平安時代の豊富な木製品をはじめ、古くは旧石器時代のナイフ型石器、中世以降では常滑の三筋壺や青磁・白磁等の輸入陶磁器が注目です。

会期：6月6日(日)まで
問い合わせ：平塚市教育委員会
社会教育課文化財保護担当
tel.0463-35-8124

会期が残りわずかです。お見逃しなく！



古墳時代を中心とした木製品のいろいろ



弥生時代の土器

6月8日(火)から17日(木)まで、全館燻蒸のために休館します。18日にまたお会いしましょう！

その時あなたは・・・月着陸から30年

期間：6月19日～7月11日

30年前、人類は月に降り立ちました。地球以外の星にはじめて踏み出しました。1969年7月のことです。その時、世界中がその偉業にわきたちました。

あなたは、どこでそのニュースを見たり聞いたりされ、どんな思いをもたれたか、お聞かせ下さい。当時なにをされていたか、小学生だったとか、すでに勤めていた、などどこで、どんなふうに着陸を見たり聞いたりしていたか、その時の感想や、30年も経ったことをどのように感じられるか、当時まだ生まれていなかった方も、月に人間が行ったことを知ったときの感想を博物館までお寄せ下さい。

今年の4月、このような私共の募集に当時の思い出、それから抱いた宇宙への関心などを答えていただきました。寄せられた思い出の多くは、テレビに釘付けになって、ときどき送られてくる月からの画像に注目したり、月とヒューストンとの交信の同時通訳に集中していた時のことでした。ここでは2つほどお便りを紹介します。当時の人たち（当時の若者）の空気を感じてください。

.....

わたしは当時東京の高校2年生でした。記念すべき月着陸の日は、友人2人と渋谷の五島プラネタリウムで迎えました。良くは覚えていないのですが、星の会会員向けにイベントがもたれ、往復ハガキで申し込んだ覚えがあります。前日の夜にプラネタリウムに入り、NHKが生中継する緊張感のなか、プラネタリウムの周りにおかれたテレビで村野賢也さん？の解説を見たり、ときどき当時科学博物館におられた、村山定男さんのプラネタリウムを使った解説を聞いたりしながら、その瞬間を迎えました。当時は、これで月に人間が行くのは当たり前のことになるんだ、と思いましたが、それっきりなんです。



（46才男性）

その時わたしは、とある田舎町の中学2年生でした。カエルの鳴き声と、天の川と、飛び交うホタルと、レンゲ畑と、五右衛門風呂と、道に落ちてる馬のふんと（これは、もっと前か）・・・そんなトトロがいそうな森のある、メイやさつきの家みたいな、ねずみとアオダイショウの住む古い家に住んでいました。望遠鏡など見たこともないし、この世にプラネタリウムなんてものが存在することすら知らなかったけど、いつも本物の星空をながめては「おほしさまのせかい」にあこがれていました。

アポロ11号が月に降り立つときは、夢中になってテレビを見ていました。時間はよく覚えていませんが、とにかくずっと見てたという記憶があります。どきどきして、すごい！って思ったと思います。

（43才女性）

.....

今回のプラネタリウムでは、これらのメッセージとアポロ計画の月着陸の記録をもとに、月に人類が残した足跡をたどります。また、当時の人々が宇宙に抱いた夢や人類が地球を飛び出した今世紀最大の偉業を支えた宇宙科学の今を解説します。

新刊行物の紹介

「自然と文化22号」 (B5判78ページ・頒価750円)

毎年刊行される、博物館の研究報告で、外部からの投稿も受け、地域の自然と文化についてのデータベースになるように編集されているものです。今号には下記の報文が掲載されています。

大類正久：「箱根のザトウムシ回想録」

大類正久：「西相模 - 伊豆地域の陸産貝類及び淡水産貝類」

山口喜盛：「コウモリ用巣箱を利用した丹沢山地のニホンヤマネについて」

鷹宏道・沢村泰彦：「1998年の太陽黒点」

山中敏史：「中央からみた相模国府」(平成10年度夏期特別展講演会記録)

山中敏史ほか：「相模国府とその世界」(平成10年度夏期特別展シンポジウム記録)

ご希望の方は、博物館受付まで。なお、博物館の刊行物は、図書館でも閲覧することができますのでご利用ください。



ポスト特別展コーナーをご存じですか？

「せっかくの特別展だったのに、見損ねてしまったなあ。」そんな経験をお持ちの方に嬉しいお知らせです。昨年5月の展示替えの時に、2階情報コーナーに新しく展示ケースが作られましたが、このケースでは特別展が終わってから、その展示のエッセンスをお見せするようにしています。いわば、ポスト特別展コーナーというわけです。現在は、今年の3月から4月に開催された「暮らしの中の鉱物展」から、選りすぐった資料が展示されています。

バスタム石などのマンガン鉱物と電池、磁鉄鉱や赤鉄鉱などの鉄鉱石と鉄製品、ボーキサイトとアルミホイルなど、鉱石とそれを利用した製品がセットで展示されているので、日々の暮らしを支えている金属の素性や素顔にふれることができます。珪ニッケル石、方鉛鉱、錫石などの合金の原料となる鉱石も多く紹介されており、ホッチキスやクリップにも合金が使われていることに驚かされます。

この鉱物展は8月末日まで開催の予定 です。まだ、長い期間がありますから、ぜひのぞいてみてください。

博物館カレンダー

1999年6月

| | | | |
|----|---|---------------------------------|------|
| 3 | 木 | 展示解説ボランティアの会 | 特研究室 |
| 4 | 金 | 古文書講読会 | 講堂 |
| 6 | 日 | ○ みんなで調べよう「カタツムリ」 | 野外 |
| | | 地質調査会 | 野外 |
| 8 | 火 | ★ 全館燻蒸(6月17日まで休館!) | 全館 |
| 13 | 日 | 民俗探訪会 | 野外 |
| 18 | 金 | 古文書講読会 | 講堂 |
| | | ☆ 寄贈品コーナー「戦災と空襲」 (~7月30日) | 展示室 |
| 19 | 土 | 天体観察会「惑星」 | 屋上 |
| | | ☆ プラネタリウム「アポロから30年」 (~7月11日) | プラネ室 |
| 20 | 日 | ◎ ろばたばなしの会 | 展示室 |
| | | 相模川の生い立ちを探る会 | 西丹沢 |
| 23 | 水 | 地質調査会 | 特研究室 |
| 24 | 木 | 石仏を調べる会 | 特研究室 |
| 25 | 金 | 古文書講読会 | 講堂 |
| 26 | 土 | ○ こども観察会「アオバト」 | 照ヶ崎 |
| | | 地質調査会 | 科学室 |
| | | 空襲と戦災を記録する会 | 特研究室 |
| 27 | 日 | 古代遺跡を探る会 | 野外 |

☆: 展示(無料)・プラネタリウム(観覧料)

○: 申込制

◎: 自由参加

その他は年間会員制

1999年7月

| | | | |
|----|---|--------------------------------|------|
| 2 | 金 | 古文書講読会 | 講堂 |
| 4 | 日 | ○ みんなで調べよう「カタツムリ」 | 科学室 |
| | | 地質調査会 | 野外 |
| 7 | 水 | 地質調査会 | 特研究室 |
| 8 | 木 | 石仏を調べる会 | 特研究室 |
| 9 | 金 | 古文書講読会 | 講堂 |
| 10 | 土 | ◎ 漂着物を拾う会 | 虹ヶ浜 |
| | | 地質調査会 | 特研究室 |
| 11 | 日 | 民俗探訪会 | 野外 |
| 16 | 金 | 古文書講読会 | 講堂 |
| 17 | 土 | 相模川の生い立ちを探る会 | 富士山 |
| | | ☆ プラネタリウム「さよならお月さま」 (~9月5日) | プラネ室 |
| 18 | 日 | ◎ ろばたばなしの会 | 展示室 |
| | | ☆ 特別展「丘陵の四季(仮称)」 (~8月29日) | 特展室 |
| 21 | 水 | 裏打ちの会 | 科学室 |
| 22 | 木 | 石仏を調べる会 | 特研究室 |
| 23 | 金 | 古文書講読会 | 講堂 |
| | | ◎ 自由研究相談会 | 科学室 |
| 24 | 土 | ○ 自然観察会 | 高麗山 |
| | | 空襲と戦災を記録する会 | 特研究室 |
| 25 | 日 | 古代遺跡を探る会 | 野外 |
| 28 | 水 | ◎ 星を見る会「月食」 | 屋上 |
| | | 天体観察会「月食」 | 屋上 |
| 29 | 木 | ○ 自然観察入門講座「街の石材」 | 野外 |
| 30 | 金 | ○ 自然観察入門講座「街の石材」 | 野外 |

☆寄贈品コーナー「戦災と空襲展」

平塚大空襲とそれに前後する戦災に関する資料の紹介です。会期: 6月18日(金)~7月30日(金)

☆プラネタリウム

「ヘルクレスの冒険&フリートークプラネタリウム」

ヘルクレス座のギリシャ神話と、日替りの話題で投影します。期間: ~6月6日(日)

「アポロから30年」

1969年7月、アポロ宇宙船が月に着陸しました。皆さんから寄せられたその時の思い出と、人類が月に残した足跡を紹介します。

期間: 6月19日(土)~7月11日(日)

☆投影日時: 土日曜日の11時と14時

☆観覧料: 100円

◎ろばたばなし

相模地方の伝説と日本の昔話を語ります。

日時: 6月20日(日) 午後1時30分と3時

場所: 1階展示室民家内 参加: 自由

参加者募集

○こども観察会

丹沢から照ヶ崎海岸に飛来するアオバトの群を観察します。

日時: 6月26日(土) 午後1時半~5時

〆切: 6月10日

定員30名(小中学生と保護者に限る)

=上記の行事の申込方法=

往復ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、博物館各係へ。

あなたと博物館 24巻3号通巻269号 発行 平塚市博物館 3000

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel.0463-33-5111 Fax.31-3949